

千葉市政担当記者 様

「救命バイスタンダー日本一の政令市！」を達成しました！  
～応急手当の救命講習受講者の対人口年間普及率（速報値）が政令市トップに～

千葉市では、「救命バイスタンダー日本一の政令市！」を目指し、市民ボランティアや千葉市医師会、日本赤十字社千葉県支部と連携し、応急手当普及啓発活動を展開してきましたが、このたび、平成28年度中の応急手当に係る救命講習受講者の対人口年間普及率（速報値）が政令市日本一となりましたので、お知らせします。

## 1 経緯

救命率の向上には、バイスタンダー（倒れた方の近くにいる人）による心肺蘇生法とAED（自動体外式除細動器）を使用した応急手当が極めて重要であることから、本市では、市民の半数以上が救命講習受講済であり世界屈指の救命率（40パーセント）を誇るアメリカのシアトル市をモデルとして、平成22年度から「千葉市を日本のシアトルに！」を合言葉に、千葉市医師会と連携をはじめました。

さらに、平成26年度からは、「救命バイスタンダー日本一の政令市！」を目指すこととし、日本赤十字社千葉県支部との連携を開始、市民ボランティア（応急手当インストラクター、応急手当ジュニアインストラクター）との協働および、市内小中学校の児童生徒を対象とした「いのちを守る教育推進プラン」をはじめとする応急手当普及啓発活動を推進してきたことにより、今回、救命講習受講者の対人口年間普及率（速報値）が政令市で一位となりました。

## 2 対人口年間普及率

3.93パーセント（平成28年度 速報値）

※本市における救命講習受講者数は38,231人。



市立中学校での救命講習の様子



応急手当インストラクターによる救命講習の様子



ジュニアインストラクターによる救命講習の様子